

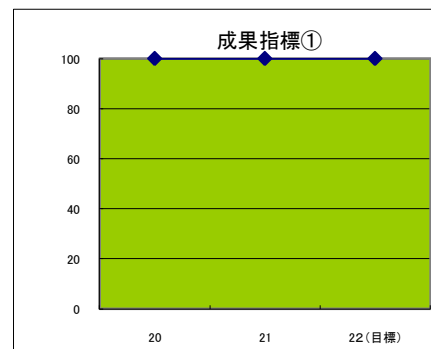
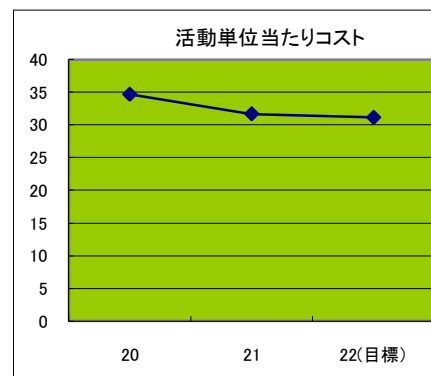
平成 22 年度 事務事業評価シート(平成 21 年度実施事業)

整理番号

市議03

事務事業名		市議会だより発行補助業務		予算科目	会計	1	一般会計
					款	1	議会費
					項	1	議会費
					目	1	議会費
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともにつくるまち	事業	1	議会費	
	施策(節)	3	行財政運営				
	施策の方向						
関連する計画等				作成部署 議会事務局			
事業の目的	対象(誰を・何を)			連絡先	072 - 958 - 1111 内線 2020		
	市民						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	市民の議会に対する関心を高めるとともに、市議会活動をより理解してもらえよう市議会だよりを配布する。						
	- 本会議や委員会において審議された結果や、一般質問、代表質疑等、議会活動の報告について、市議会だよりとして、議員が主体となって編集委員会を開き発行する。 - 議会事務局職員が事務補助を行い、定例会、臨時会ごとに年6回発行、市の広報はびきのに併載し全戸配布し情報提供を行う。						
根拠法令等							
事業開始時期		☒ 昭和 34 年開始 ☐ 明確にはわからない ☒ 市制施行(昭和34年)以前より行っている			終了年度	平成 年度	
事業開始時からの状況変化		市議会だよりに掲載する記事等、議員が主体となって編集委員会を開き発行している。また市ホームページから市議会だよりにアクセスできるようになった。					
市民や議会の要望		市民によりわかりやすく関心をもたれるものにする。					
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称() ☒ 民間委託 ☐ その他			委託内容 市議会だより印刷製本費		

区 分		20年度	21年度	22年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		1,836	1,967	1,817
人件費【2】 (千円)		9,375	8,250	8,250
職員数	正規職員	1.25 人	1.10 人	1.10 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		11,211	10,217	10,067
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	11,211	10,217	10,067
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		20年度	21年度	22年度(目標)
① 市議会だより発行部数	部	323,400	322,500	323,400
②				
③				
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		35 円	32 円	31 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		94 円	86 円	85 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	①	配布率 (式)	%	市議会だよりの配布率	目標	100	100	達成率(%)	100	
					実績	100	100	100.0%		
	②	(式)			目標			達成率(%)		
					実績					

担当 部局 評価	総合評価	
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	直接議会活動にふれられない、多くの市民に対して議案の審議結果、一般質問等に関する議員の発言等、市議会活動について関心を持ってもらう手段として、現状維持する必要がある。 今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 市民が市議会の活動や行政に関心を持ち、的確な判断ができるよう、議案の審議結果や質問を親しみやすくわかりやすい内容で掲載し、市政の現状や政策課題、市の対応策など情報発信的な広報紙の充実とともに声の市議会だよりを配信することで広く市民に親しんで頂けるよう努めていきたい。	
行 革 本 部 評 価	総合評価	評価理由・意見
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	